

働くよろこび
未来につなぐ

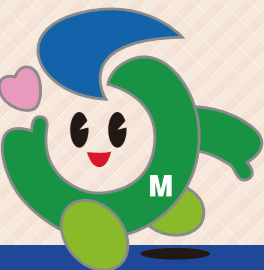
45th
設立45周年記念誌

働くよろこび
未来につなぐ

45th
設立45周年記念誌

公益社団法人 町田市シルバー人材センター

皆さまに感謝をこめて
現在の取り組み
これから歩む道を
紹介いたします



公益社団法人 町田市シルバー人材センター

働くよろこび 未来につなぐ

45th
設立45周年記念誌



CONTENTS

2-3 ご挨拶

坂田 亮一 (町田市シルバー人材センター会長)

石阪 丈一 (町田市長・町田市シルバー人材センター名誉会長)

4-5 年表 設立から45周年までのあゆみ

6-9 活躍中の会員の声

10-14 発注者様からの声

町田市社会福祉協議会様

昭和薬科大学様

すみれ保育園様

まちだエコライフ推進公社様

悠々会様

15 研修・講習

16-17 ボランティア活動

18-19 イベント

20-21 ご寄稿

「シルバー人材センター運動の原点」

塚本 成美様 (城西大学経営学部教授)

「ともに歩んだ20年間に感謝を込めて」

石橋 智昭様 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長)

22-23 メディア紹介

24-25 班長・副班長紹介

26-27 会員共助会

28-29 事業実績





祝、設立45周年

会長
坂田 亮一

町田市シルバー人材センターが設立されて45年を迎えたことにお祝い申し上げ、この時に会長を務めることを光栄に思います。

私が町田市に引っ越してきたのもちょうど45年前のことです。

わが故郷の福岡県に住む父が、連れ合い、つまり我が母を亡くし余生を寂しく送っておりました。それを機に私が住む町田まで呼び寄せ、それからシルバー人材センターを紹介しました。果たして、初めて住む土地で人の輪に馴染むことができるかと思いましたが、団地の草刈など生き生きと働く姿を見て安心しました。数年後、父は天に旅立ちましたが、別れの儀式も当時葬祭事業を受託していた町田市シルバー人材センターにお願いできました。ずっとそのことが私の心の中に生きていて、自分が定年退職になると同時に、ごく当たり前にシルバー人材センターに参り、会員となって現在に至っております。

企業の定年延長などを受け、シルバー人材センターの加入者が町田市でも減少傾向にあります。その逆風の中で、会長としてどう舵取りをすればよいか。何か新しいこと、他のシルバー人材センターで実施していない企画など、町田独自のものをお願いします。まずは会員数の回復を目標に、お互いの協力とアイデアに富んだご意見を期待します。

人との新しい交流を持つことは、シルバー人材センターにおける主たる入会理由です。私は会長になるとともに当センターの共助会に入会し、「食べ歩きの会」のメンバーになりました。町田駅周辺の美味しいお店を探し、月に1回皆揃っての食事は実に楽しいものです。つい先日、長崎市を旅した時に平和公園で緑の帽子の方々が清掃されていました。SCのインシヤルからシルバー人材センターの会員さんであることがすぐ分かり、挨拶を交わしました。全国67万人の会員との結びつきを感じた瞬間でした。会員の皆様もどこかに行かれた時に、SCマークの帽子を見つけたら是非声を掛けてください。我々の仲間全国にいます。

45周年のメモリアルな記念誌が自分の追憶になってしまいましたが、このシルバー人材センターがボランティアで応援を行っているFC町田ゼルビアも今期は天皇杯で見事優勝し町田の名を高めています。私たちも町田を愛し、元気で次の50周年を迎えられるように、日々健康増進に努めましょう。



設立45周年を迎えて ——経験という宝物を、地域の力に。——

町田市市長・町田市シルバー人材センター名誉会長
石阪 丈一

公益社団法人町田市シルバー人材センターが設立45周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。また、会員の皆様には、日頃から市政運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、1980年の設立以来「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、様々な活動を通じ、活力ある地域社会づくりへ貢献いただいております。これまでの歴代の役員並びに会員の皆様のご尽力に敬意を表します。

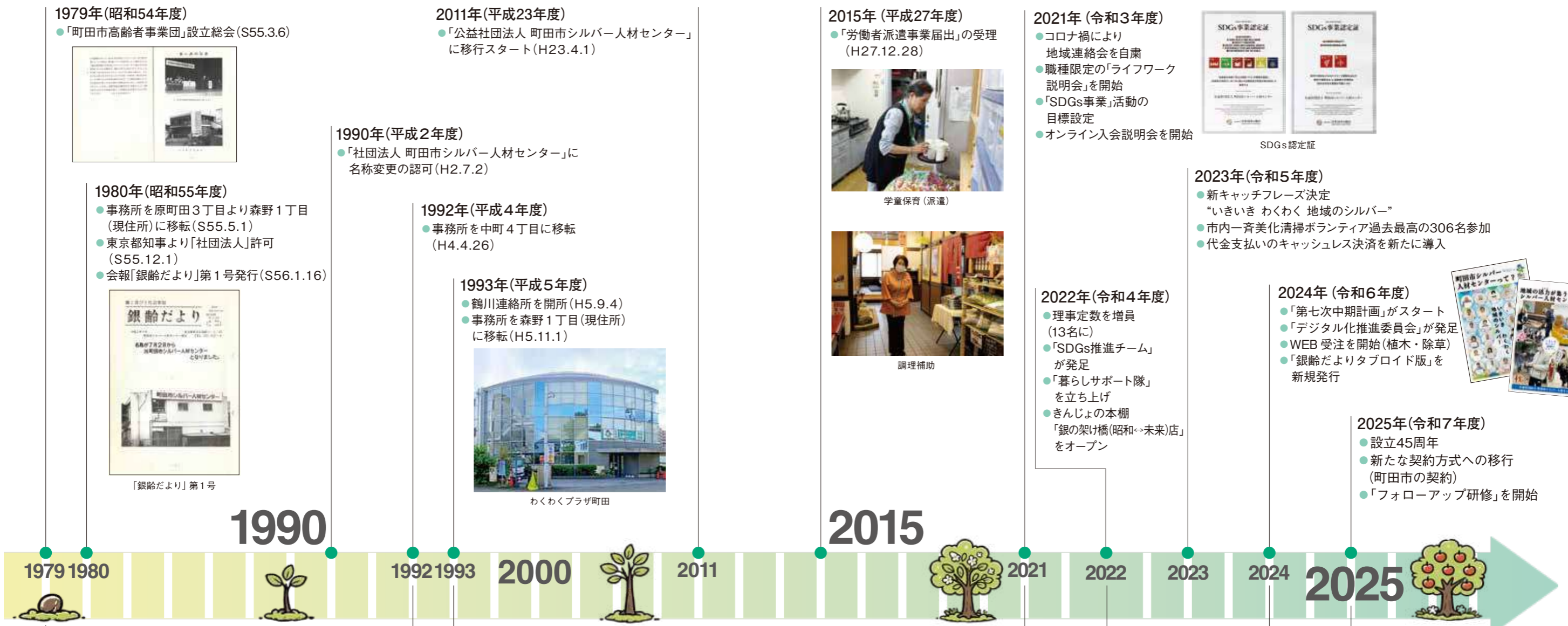
さて、高齢化が進む我が国では、2025年9月に高齢化率が過去最高の29.4%となり、2025年度末には「団塊の世代」全員が75歳以上の後期高齢者となります。このような人口構造の変化は、社会の在り方を大きく変える契機となっています。その中で、高齢者の皆様の生き方や働き方に一層注目が集まり、社会の担い手としての新たな可能性が期待されています。

町田市では「高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち～地域で支えあい健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～」という基本理念のもと、「町田市いきいき長寿プラン24-26」を策定し、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるための取組みを進めています。

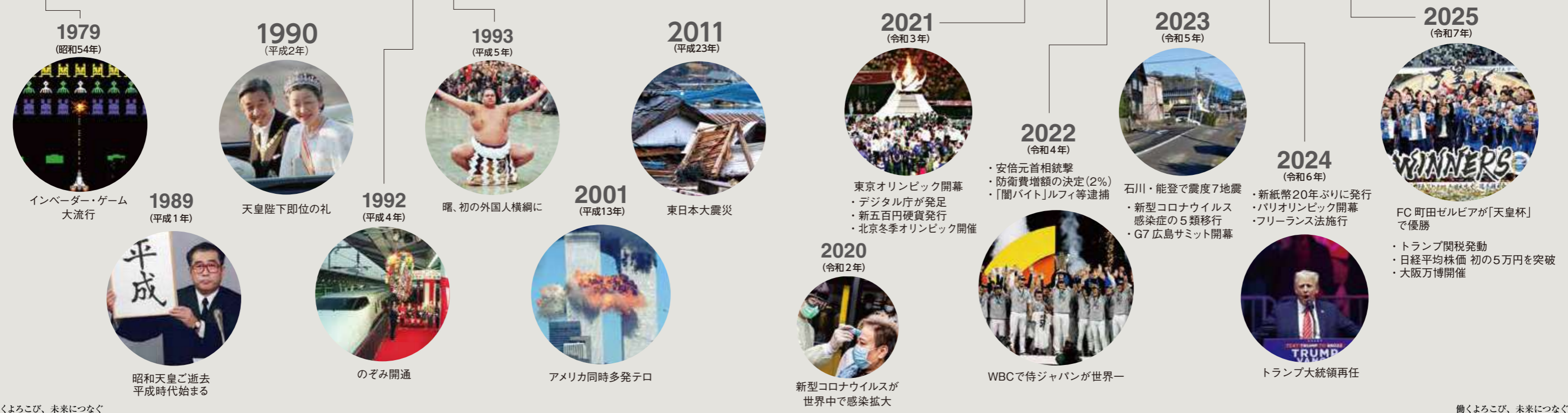
町田市が目指すまちの実現に向けて、就業機会の確保、生きがいの創出、地域交流の促進など、多岐にわたる貴センターの取組みは、豊かな地域社会づくりに欠かせないものです。

高齢者の皆様が長年培ってこられた技能や知識・経験を生かし、地域の活力を引き出す拠点として、今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町田市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。



社会の出来事



ベテラン会員
として
長く活躍中

会員歴 25年
年齢 91歳



小峰 房雄さん

会員になったきっかけ

65歳で現役の職場を退職して、67歳になり近所にいたシルバーの会員に誘われて入会しました。

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

最初に公園清掃グループに入り、そのまま公園清掃事務所の事務員として働きました。

14年間、地域班長を務め、その間公園除草のリーダーや選挙のたびに投票所の業務に従事しました。また、地域の公園の開閉業務を4年間続けました。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

まず仕事をすることで健康の維持ができたことが大きい、また仲間（会員）にも恵まれて楽しく仕事できました。毎年その仲間たちと旅行をしたり食事をする関係ができたことは今でも続く財産になっています。事務局の職員とも良い関係ができたことで今でも仕事を頑張っています。

50周年やその先に向けて一言

シルバー人材センターをもっともっとPRして多くの市民の方に会員になってもらい、末永く続いていってほしいと思っています。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

何よりも仕事を続けることに大切な「安全」には本当に気を付けていました。自分の安全はもちろん、グループを取り纏める就業をしていたこともあり、仲間の会員の安全にも気を付けています。特に自転車を利用しているときには十分に注意していました。

健康の秘訣は？

今でも毎日畑仕事をしています。近所の散歩はもちろん、仏閣や神社を見に行ったり精神的に活動しています。また、自治会・町内会では役員をやりました。

ベテラン会員
として
長く活躍中

会員歴 14年
年齢 82歳



安川 正純さん

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

平成23年に入会し、もともと介護ヘルパーの資格を持っていたこともあり、最初は、家事援助サービスの仕事をしていました。その後、現役時代の知識を生かしてパソコン教室の講師を経験しました。その後は、成瀬のおおぞら会館（現在は閉館）で管理全般を担当しました。技能作業班など様々な会員が出入りし作業する場だったため、その対応をしながら事務作業を

したり、市の事業の一環として車椅子の貸出し管理や補修を行っていました。その他、ボール体操・笑いヨガ体操教室のインストラクターも経験しました。

空き家見守り管理事業立ち上げの経緯

空き家が増えているという世の中の動きもありましたし、もっと会員が地域で活躍できる仕事があったらいいと思い、事務局に新規事業として企画提案しました。承認を得て、事業の立ち上げから軌道に乗るまでの進捗を、お陰様で楽しく主導できました。

新規事業の立ち上げは大変ではありませんでしたか？

私の生きがいは、新しい挑戦や開拓をすることです。だからこそ、壁があっても打ち破ればいいという考えで、労力も苦ではありませんでした。初めてのことに困難がつきものですが、だからこそ、楽しいのです。

また、シルバーに入って事務局の池野さん（現在の事務局長）と出会えたのは、私にとって大変大きな出来事でした。私の提案を後押ししてもらい、助言をもらいながら、実際に新規事業を立ち上げることができました。事務局との信頼関係を築き、一緒に成し遂げることができた達成感が大きかったです。

50周年やその先に向けて一言

今後ますます高齢化や国際化が進み、社会の変化とともにシルバーも柔軟に変化していかなければならないと思います。そうした動きにうまく適用しながら、今後も発展していきしてほしいと思います。

ベテラン会員
として
長く活躍中

会員歴 24年
年齢 86歳



井本 和宏さん

会員になったきっかけ

定年退職後これから何をしようかと考えていた時に、町田市の広報でシルバー人材センターの毛筆筆耕講習の募集を見つけました。筆を使って書くのはもともと好きだったので、申し込みました。1ヶ月ほどの長期間の講習で、受講後にシルバーに入会しました。

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

平成14年からシルバーで就業を始め、約24年間筆耕の仕事が続いています。表彰状・感謝状等の文字入れや全文書き、式典の胸章、式次第、封筒の宛名書き、町田市内外小中学校の卒業証書の筆耕など、様々な仕事をしてきました。筆耕グループの仲間と一緒に百貨店の仕事にも携わり、ギフトの熨斗紙・結納目録等の筆耕も経験しました。シルバーでの仕事を通じて共通の友人ができ、年に何度か「反省会」と称して飲み会等で親睦を深めてきたのも、良い思い出です。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

書くときはいつも、受け取る人の顔を思い浮かべています。例えば卒業証書なら、どんな表情で受け取ってくれるだろうか？と考えます。自分の書いた字が多くの人目に触れ、時には長く手元に残るものになることが、やりがいです。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

紙面の構成や字数に注意し、バランスよく正確に、美しい字を書くため、いつも入念に準備してから書き始めるようにしています。お客様が希望する納期に遅れないよう、納期厳守で仕事をしています。

今後について

今では技術が進み、パソコンで簡単にきれいな文字が出力できるようになりましたが、それでも発注者が手書きを求めて依頼するのには、特別な意味がある。その思いに応えられるよう、手書きならではの、心のこもった、味わいのある字をこれからも書き続けていきたいと思います。

夫婦で
シルバー会員
として
活躍中

会員歴 13年 年齢 76歳

浦田 博史さん

会員歴 11年 年齢 77歳

道子さん



シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

「男性料理教室」の講師をしています。事務局からの紹介で妻が料理教室の手伝いをしていたことがきっかけで、平成28年から夫婦2人で「男性料理教室」を始動することになりました。レシピ作りから食材の購入、前日の食材搬入、当日の準備まで、すべて夫婦で協力して行っています。

大変なことはありますか？

一番大変なのはレシピ作りです。料理初心者の方が簡単に作れて、栄養バランスのよいメニューの組み合わせ、味の濃さ、出来上がるまでの調理時間など、毎回試行錯誤しています。何度も繰り返し作るので、わが家の献立は教室と同じメニューが連続することも多いです。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

包丁や火を扱うので、怪我のないよう、安全に気を付けています。参加者にも仲間のスタッフ達にも、「焦らず、ゆっくりでいいよ」と声を掛けます。怪我なく笑顔で帰る姿を見ると、毎回ほっとします。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

最後に会食をする際、「美味しかった」と言ってもらえると嬉しいです。また、これまでほとんど料理の経験がない方が、教室をきっかけに家での料理にも挑戦したという声を聞くと、やりがいを感じます。参加者同士が仲良くなって、交流を楽しんでいる姿を見るのも、嬉しい瞬間です。毎回、定員以上の申込をいただいております。「参加が楽しみ」という声を聞くことも多く、私たちの励みになっています。

心がけていることはありますか？

初めて料理に挑戦する男性には、レトルト調味料で作るほうが簡単なのですが、私たちの教室では、味噌汁の場合は煮干しから出汁を取る方法を教えています。この食材とこの調味料でこの味になるという基本がわかれば、味の濃さを調節できるようになり、発想が豊かになります。また、参加者同士が自然と仲良くなれるような雰囲気づくりも大事にしています。高齢者はどうしても孤食になりがちですが、食事を囲んで交流する時間も楽しんでもらいたいと思っています。今後も食の楽しさ・大切さを感じてもらえる料理教室でありたいと思います。

親子で
シルバー会員
として
活躍中

会員歴 32年
年齢 94歳



依田 なつ子さん

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

平成5年に入会した際、最初に清掃のお仕事をいくつか紹介を受けまして、その中の一つは現在でも続けています。また、毎年開催される、地域の美化清掃のボランティア活動についても仕事と被らなければ毎年参加しています。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

例えば買い物でホームセンターなどの商業施設を訪ねる際に、草が少し生えていたりするのを見かけると草を取ってあげたいと思うようになったりするなど、就業を通して自分でできることが増えたため、少しでも周りの力になりたいという想いが大きくなりました。

現在の清掃の仕事でも、「ずっと続けてほしい」と地域の方やご依頼者から言われるととても励みになります。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

長く仕事を続けられるように日々「安全」に気を付けて就業しています。特に私の清掃現場は屋外の仕事で段差がある部分もあるため、滑らないように長靴に転倒防止対策をして作業するなど足元に気を付けて作業をするように意識しています。

健康の秘訣は？

2〜3年前にやめてしまいましたが、昭和45年頃から現在の住まいで野菜を栽培していたことから畑仕事を通して自然と体力がついたのだと思います。

また、年齢もあって食べられるものが限定されている中でお肉や魚などのタンパク質を含めて食べられるものは何でも食べるようにしています。

今後について

100歳を一つの目標として、これからもシルバーで頑張りたいです。

親子で
シルバー会員
として
活躍中

会員歴 1年
年齢 64歳



依田 美和子さん

会員になったきっかけ

長年母がシルバーで働いていることで自分にとって身近な存在だったこと、また自分も還暦を迎え老後の働き方を考え始めたことがきっかけです。

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

まだ現役で働いているので、ゴミカレンダーや町田指定のゴミ袋の配布など空き時間で出来る仕事を行っています。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

道が複雑すぎるときがあり地図のみではたどり着けないこともありましたが、町田の方々とお話できること、配っていて感謝されるのでやりがいというか楽しく仕事ができています。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

自分より年配の方も多いので低姿勢で臨んでいます。

配分金の使い道

日数的にはまだたくさん働いていないので預金されたままになっていますが、今後は日帰り旅行などに使いたいと思っています。

ご家族様から見てシルバーに入って活躍されているお母様(なつこ様)の様子をお聞かせください。

仕事の日を決して休みたいとは言わず、他の予定を入れることもなく定時に家を出るということを長年続けているのは本当に尊敬すべき事だと思います。仕事も楽しそうで小山田桜台の住人の方々から感謝されているようです。

足腰も丈夫で風邪をひくこともなく94歳で仕事を続けられているのは、まさに超人的だと思います。地域の方々とおしゃべりするの大好きなので今後も長く続けて欲しいと思います。

これから
シルバーを支える
若手会員
として
活躍中

会員歴 4年
年齢 66歳



谷萩 香織さん

会員になったきっかけ

新聞の折り込みで入っていた会員募集のチラシをみたことがきっかけです。町田に住んで30年以上経ち、子供も独立をしたので、地域とのつながりと次世代への「恩送り」をしたいと思い、入会しました。

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

ひなた村で行われた植木剪定の研修に参加したことがきっかけで、植木班に所属して、現在も就業を続けています。現役時代とは、全く異なる仕事ですが、仲間にも恵まれて、シルバー以外の仕事と両立しながら仕事をしています。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

お客様から、感謝の言葉を直接いただくことができるのが何よりのやりがいです。特に高齢者のお客様は、自分で元々剪定していたものができなくなり、シルバーに依頼される方が多いので、作業の大変さが身に染みているのかとても感謝されます。

心がけていること

植木の仕事は、リピーターが多く、お客様から信頼される仕事を心がけています。作業の際は、リーダーの指示とおお客様の意向をよく確認して、齟齬がないように気を付けています。また、怪我をしないように安全第一で作業を行っています。

健康の秘訣は？

三食欠かさず食事を取り、よく睡眠をとるようにしています。特に仕事の前日は早めに眠るように意識をしています。

目標

お客様の満足度を高めることです。お客様から信頼を得られるように、改善するべきところを分析して、今後の仕事に反映していきたいです。

最後に一言

シルバーに植木のお仕事を頼む際は、気軽にご相談ください。お客様の要望を踏まえてベストな作業時期や方法を提案いたします。

これから
シルバーを支える
若手会員
として
活躍中

会員歴 1年
年齢 61歳



向井 恵一さん

会員になったきっかけ

年齢的にも、働こうと思えばもっとフルタイムのような形でもはたらけるのかもしれませんが、そこまでは働かなくても良いかなと思っていました。一方で全く何もせず、身体を持って余すも良くないと思っていた中で、シルバーを知ったので、自分にとって丁度良い働き方が出来るのかと思って、入会しました。

シルバーに入ってどんな活動をされましたか？

最初に公園除草の運転班で声を掛けられ、その後、公園巡回清掃班で就業を続けています。また、主に週末は町田中央公園のグラウンド整備の仕事はシルバーで行っています。その他、選挙やゴミ袋の梱包の仕事など、いろいろと就業しています。

仕事を通じてやりがいや新しい発見はありましたか？

今引き受けている仕事は、ほとんどがこんな仕事があったのかと思う内容ばかりで、現役の時とは全く異なる働き方なので新鮮に思えます。(ポケ防止にもなっているのかも。)

また、現役のころは通勤に時間がかかったり、満員電車で揺られてだったり大変な部分があったので、地元で働けるということで、そういったストレスから解放されるという点においても、今のシルバーでの働き方はとても良く感じています。

50周年やその先に向けて一言

今の自分の状況がこの先も継続していければと思っているので、引き続きセンター運営が良くなるように頑張りたいです。

お仕事をするとき気を付けていることはありますか？

車輛を運転することが多い仕事なので、やっぱり安全第一を心掛けています。また、巡回清掃の仕事については、1日で回らなければいけない公園が多く、1箇所あたりにかけられる時間が限られているので、その限られた時間で出来る限りの作業を行うよう、一生懸命を心掛けています。

健康の秘訣は

特に意識しているわけではないですが、身体を動かす仕事なので、朝のストレッチなどは意識しています。そもそも身体を動かす仕事なのが健康に良いのかもしれない。



町田市社会福祉協議会 様

1 シルバーに仕事を依頼された経過をお聞かせください。

十数年前、保育園では庭の手入れなどの作業をシルバー人材センターに委託していると伺いました。そこで、当時、学童保育クラブでは入会時に保護者へ椅子カバーの作成をお願いしていましたが、希望者にはシルバー人材センターに制作を依頼できる仕組みを導入しました。さらに、夏休み期間中の早朝や夕方など職員が手薄になる時間帯に、保育補助をお願いし、その後、児童数が多いクラブなどでは、学校がある日も勤務していただくようになり、現在では当法人が運営する全15クラブで、継続的に業務を担っていただいています。業務内容も広がり、保育補助に加え、おやつ準備・片付けや清掃など、幅広いサポートを担っていただいています。

2 依頼されてみてのご感想をお聞かせください。

特に印象的だったのは、子どもたちのために一生懸命取り組んでいる方が多いことです。子どもたちにとっても、シルバーの方々に関わることで、高齢者世代の方と触れ合える貴重な機会になっています。シルバーの方と一緒にいることを好む子どもも多く、自然と笑顔が広がる場面もありました。その温かい雰囲気は、子どもたちに安心感を与えています。また、人生経験が豊かで、加えて学童保育クラブでの活動をおとして、放課後児童支援員の資格を取得された方もいるなど、学び続ける姿勢が素晴らしいと感じています。

3 今後シルバーに求めているものがあればお聞かせください。

今後も、子どもが好きで、子どもをあたたかい目で見守ってくださる方、そして元気で前向きな方を、引き続き派遣していただきたいと考えています。シルバーの方々は、子どもたちにとって、安心感や笑顔をもたらしてくれる存在であり、さまざまな年代の方と関わることは貴重な経験です。こうした温かい雰囲気を大切にしながら、地域の高齢者と子どもたちをつなぐ活動を、これからも一緒に続けていけたらと考えています。

4 シルバーに依頼をする前とシルバー会員が就業に入った後で高齢者に対するイメージに変化はありましたか？ 他の業者とは違うシルバーだからこそその魅力をお聞かせください。

「こんなに頼りになるんだ」と感じるのと同時に、シルバーさんの存在に癒されている職員も多いです。職員自身、将来のビジョンを考えるきっかけにもなっているように感じます。人によって得意なことが違うので、さまざまな業務をお願いできるのも大きな魅力です。また、サポート体制がしっかりしているのも安心できるポイントです。何か困ったことがあれば、シルバー人材センターの職員の方に相談することができ、迅速に対応していただいています。こうした仕組みのおかげで、安心して業務をお願いできます。最後に、活動を通して子どもたちと地域の高齢者が交流することで、温かなつながりができるのも大きな魅力だと感じています。

5 雇用延長を採用する企業が急増する中で雇用延長を終えた先のシルバー世代の在り方についてお聞かせください。

雇用延長を終えたシルバー世代の皆様は、経験から培われた様々なスキルをお持ちです。「人生100年時代」「生涯現役」という言葉も聞かれるようになりました。これからもお持ちのスキルを是非、地域に還元していただきたいと思っています。



昭和薬科大学 様

1 シルバーに仕事を依頼された経過をお聞かせください。

以前からシルバー人材センターにはお世話になっておりましたが、業務内容から、他社へ依頼しておりました。しかしながら、派遣という形態で多種多様な業務を行っていただけるということで、再度依頼しました。

2 依頼されてみてのご感想をお聞かせください。

会員の方々は様々な仕事経験があるため、業務を行っていく中で、これまでの経験を生かしたアドバイスをいただき、より良い方向に進んでいくことが多いです。

3 今後シルバーに求めているものがあればお聞かせください。

現状でいろいろと作業していただいているので大変助かっています。会員の方に元気で生き生きと働いていただければと思います。

4 シルバーに依頼をする前とシルバー会員が就業に入った後で高齢者に対するイメージに変化はありましたか？ 他の業者とは違うシルバーだからこそその魅力をお聞かせください。

ご高齢と聞くと体力的に不安がありましたが、実際には大変パワフルに働いていただいています。また、多くのことに能動的に取り組んでいただいているので助かっています。

Customer's Voice

すみれ保育園 様

1 シルバーに仕事を依頼された経過をお聞かせください。

一時的に人手が必要となり、地域のお力をお借りできないかと考えていました。その際、保育園の園長会でシルバー人材センターのご挨拶を聞き、身近で頼りになる存在だと感じ、相談してみることにしました。業務内容や期間についてお話ししたところ、条件に合う方をご紹介いただき、仕事を依頼することになりました。

2 依頼されてみてのご感想をお聞かせください。

保育補助や清掃業務をお願いしましたが、どの業務にも丁寧に取り組んでいただき、大変助かっています。園児への声かけもやさしく、職員とも円滑に連携してくださり、安心してお任せすることができました。

3 今後シルバーに求めているものがあればお聞かせください。

これまで大変丁寧にご対応いただいております。今後も変わらず地域と園をつなぐ存在としてご支援いただけることを期待しています。

4 シルバーに依頼をする前とシルバー会員が就業に入った後で高齢者に対するイメージに変化はありましたか？
他の業者とは違うシルバーだからこそその魅力をお聞かせください。

子どもたちに対してゆったりとした気持ちで関わってくださり、園全体に穏やかな雰囲気をもたらしてくれるところが魅力です。

5 雇用延長を採用する企業が急増する中で雇用延長を終えた先のシルバー世代の在り方についてお聞かせください。

高齢化が進む中で、シルバー世代の方々は地域にとって大切な存在だと感じています。保育園で子どもたちと日々ふれあう中で、自然な世代間の交流が生まれ、子どもたちにとって安心感や思いやりの心を育むきっかけになっていると思います。無理のない形で園や地域と関わっていただけることを、今後も大切にしていきたいです。

Customer's Voice

まちだエコライフ推進公社 様

1 シルバーに仕事を依頼された経過をお聞かせください。

1994年4月 町田市リサイクル公社を設立し、町田市より粗大ごみ収集業務を受託しました。5月から収集した粗大ごみの再生販売も開始しました。2010年4月より再生販売を町田市シルバー人材センターへ委託しました。

2 依頼されてみてのご感想をお聞かせください。

確実に丁寧な仕事をされている印象をもっており、お客様からの製品の評判も良いです。

3 今後シルバーに求めているものがあればお聞かせください。

高齢者社会にあって、労働意欲のある方には働く機会を提供することは必然だと思います。世の中には経験豊富な知識とスキルをもっているシニアがまだまだいると思うので、専門的な人材の層が厚くなれば良いと思います。

4 シルバーに依頼をする前とシルバー会員が就業に入った後で高齢者に対するイメージに変化はありましたか？
他の業者とは違うシルバーだからこそその魅力をお聞かせください。

イメージに変化は特にはないですが、魅力といえば、会員さんは個人事業主ということなので、自覚をもって働いてくださっていると思います。



Customer's Voice

悠々会様

1 シルバーに仕事を依頼された経過をお聞かせください。

高齢者が地域で活躍する仕組みづくりを行いたい旨をシルバー人材センター様にご相談したところ、鶴川地区協議会として包丁研ぎイベントを開催していただき現在も継続中です。

また、グランハート町田での送迎車両のドライバーを派遣していただき、現在も継続中です。

元々、地域支え合い交通の一環として各テナント費用持ち合いで始めたもので、切れ間なく安定したドライバーの確保が必須だったので、シルバー人材センター様に相談したところ、対応していただきました。

2 依頼されてみてのご感想をお聞かせください。

マネジメントがしっかりした組織に依頼出来て、いざという時にも組織として対応頂けて、安心感があります。

3 今後シルバーに求めているものがあればお聞かせください。

低介護度の方に対する介護保険サービスが不足している中で、シルバー人材センター様にも地域密着型事業の展開を検討していただきたいです。

また、財務管理、労務管理ができる方のチームを作っていただきたいです。

4 シルバーに依頼をする前とシルバー会員が就業に入った後で高齢者に対するイメージに変化はありましたか？ 他の業者とは違うシルバーだからこそその魅力をお聞かせください。

基礎教育を受けて、専門性を身につけての就業者である事が魅力だと思います。

5 雇用延長を採用する企業が急増する中で雇用延長を終えた先のシルバー世代の在り方についてお聞かせください。

今までの経験を活かし、または趣味の延長で、ボランティア又は有償ボランティア活動を継続して下さると良いと思います。

職群別講習

主に仕事のスキルアップを図る研修や作業中の事故防止のための安全についての研修など幅広く開催しています。



清掃 スキルアップ研修会



エアコン班 体験研修



刈払機安全研修

デジタル講習

シルバー世代のデジタルデバインド軽減や情報セキュリティを目的とした、スマートフォンに関する講習会を開催しています。また、事務局が推進している会員サイト「smile to smile」の登録及び利用相談会なども毎月開催しています。



なんでもスマホ相談会



スマホ講習

安全研修

職群ごとの安全研修に加え、就業先への経路途中での事故防止のための自転車安全研修、熱中症防止のためのセミナーなども開催。



自転車シュミレーター



植木班・新人剪定研修 剪定の基本説明

フォローアップ研修

2025年度より、入会から1年目かつ就業中の会員向けにマナー・個人情報・ハラスメント防止等を主としたフォローアップ研修の実施を開始しました。



フォローアップ研修



フォローアップ研修

ボランティア活動

赤十字奉仕団 ボランティア活動

町田駅近くの町映ビル7階にある献血ルームで献血に来られる方々の受付補助や誘導・ご案内を、市民ボランティアスタッフとシルバー会員のボランティアスタッフがそれぞれ日程調整をして活動しています。

この他に、献血呼びかけのチラシ配付や、講習会にも出席します。



定期的な講習会への出席



夏季キャンペーン開催時の受付、案内補助

J1リーグサッカーチーム FC町田ゼルビア支援

町田ギオンスタジアム等でのチケット確認、回収や駐輪場、バス乗り場の案内などを行っています。

長年の想いだったJ1への昇格を達成し、センター同より一層活動に力を入れて支援してまいります。



ゼルビア試合観戦



試合観戦に来た観客のチケットの確認1



試合観戦に来た観客のチケットの確認2



試合観戦に来た観客のチケットの確認3



ゼルビアのボランティア活動をした会員の集合写真

文具寄付

会員の皆様から寄付いただいた文具や生活用品を市内の福祉施設や児童施設にお渡ししています。



つるかわ子どもこもんず様への文具寄付



町田市社会福祉協議会様への文具寄付

学校支援

また、琴、三味線の体験講習、放課後の学習支援など多方面で学校への支援を行っています。



小学校での普遊び(けん玉)1



小学校での普遊び(けん玉)2

地域活性ボランティア

2025年1月25日(土) 鶴川駅前(徒歩5分)に新名所「鶴川香山園(かごやまえん)」がオープンした際のセレモニーにて、来場者へのおもてなしの一環として「昔あそび」を行いました。

朝から多くの方が来場、シルバー世代の方は昔を懐かしみながらアヤトリを楽しみ、また子どもたちは初めてのコマ回しや、けん玉に挑戦と、楽しい時間を過ごしました。



香山園での来場者との交流(けん玉)



香山園での来場者との交流(あやとり)



香山園オープンセレモニー

美化清掃

町田市との連携を図り、日頃お世話になっている地域の皆様へ感謝の意を込めて、例年秋に市内駅付近をはじめとしてメイン通りなどの美化清掃を実施しております。

毎年多くの会員の皆様が参加されるため、地域の会員相互の親睦の場の一つにもなっています。



成瀬駅周辺美化キャンペーン参加メンバー



市内一斉美化清掃1



小学校での琴、三味線体験



市内一斉美化清掃2



成瀬駅周辺美化キャンペーンでの作業

イベント

夏まつり

2024年から新たにイベントがスタート。
毎年夏に開催し、季節に合った盆踊りやおかし釣りなどの子供からシルバー世代まで楽しめるイベントになっています。



けん玉遊び



蜜蝋ラップ作り (アイロンかけ)



割り箸鉄砲作り

交流まつり

企業や市内の大学・専門学校（東京科学大学三宅研究室、町田美容専門学校、桜美林大学落語研究部など）とコラボし、講演や体操、体験会、物産品の販売など、その年ごとのテーマに沿った様々なイベントを開催しているのが特徴的です。



歩行分析「ロボット×街歩きによるバリアフリー観光」プロジェクトの一環としての活動（東京科学大学 特任教授 内富寛隆）



FC町田ゼルビアの健康体操



ゼルビーくんも交流まつりへ参加



桜ウォーキング



食肉と健康に関する講演（会員でもある麻布大学名誉教授 坂田 亮一）



落語（桜美林大学落語研究部）



ネイル体験（町田美容専門学校）

まちカフェ

2024年度蜜蝋ラップ、2023年度のお菓子釣りなど子供向けの開催内容が近年は多く、大変好評です。



お菓子釣り



蜜蝋ラップづくり (蜜蝋設置)



野菜摂取量チェック体験



シルバー展

毎年1月に町田市役所のロビーにて開催。
センターの活動紹介や入会相談などのほかに会員による獅子舞が好評です。

シルバー展ポスター



共助会作成の絵葉書



お雑子



小物販売



スマホ相談

作品展

わくわくプラザ町田を利用する団体が集い、絵や俳句、木工品など様々な作品を展示しています。



プラザ俳句の会の展示



会場の様子



シルバー人材センター運動の原点

城西大学経営学部教授
塚本 成美

町田市シルバー人材センター設立45周年おめでとうございます。

45年という歳月は、地域の高齢者が互いに支え合い、働き合うという理念が、確かな実践として根づいてきた証です。町田市シルバー人材センター(以下、町田市シルバー)は、1980年3月6日に東京都で42番目のシルバー人材センターとして設立されました。町田市シルバーが設立された1980年は、東京都江戸川区にモデル事業団として最初の高齢者事業団が設立されてからちょうど5年目、「高齢者労働能力活用事業」の改正によって高齢者事業団が国庫補助事業化(シルバー人材センター事業)された年でもあります。

1980年には設立順に荒川区、町田市、多摩市、稲城市、秋川市にシルバー人材センターが、そして12月には現在の全国シルバー人材センター事業協会の前身である「全国高齢者事業団・シルバー人材センター等連絡協議会」が発足しました。東京都でも既設の45地区高齢者事業団を社団法人シルバー人材センター・高齢者事業団として再発足し、都内のシルバー人材センターが再組織化されました。町田市シルバーが設立されたのは、このようにシルバー人材センターが組織的な運動として再出発した年でした。

運動の初期を指導した大河内一男は、「高齢者事業とよばれるものは、労使間の雇用関係を前提とした上での高齢者就労ではなく、あくまで地域の高齢者たちが自主的に働こうとするところの互助と共働のための就労活動であり、むしろおおよそ60歳以上の高齢者たちが、自分の長い人生の中で身につけた経験と技能と生活の智慧とでもいうべきものを地域のために提供することに、老後の積極的生きがいを見つけ出そうとする運動」であると述べています。シルバー人材センターは創立のときから運動体でした。

高齢者事業団にはじまるシルバー人材センター運動がその当初から一貫してもちつづけているのは、「自主・自立、共働・共助」という組織理念です。この表現自体は、全シ協の1991年度定期総会の宣言書において「……シルバー人材センター事業の基本である自主・自立、共働・共助の理念を再度確認し、日々の業務のすべてをここに求め……」と明記されたのが最初ですが、1980年ごろに書かれた「高齢者事業団事業の構想とその具体化」にはすでに、生活主体であり人権主体である高齢者が自主的に、生活している地域を単位に生活の自立的促進のために連帯して共に働き、共に助け合うという「新しいコミュニティ」を創造する、という組織理念が登場しています。

ここに述べられているのは、「自主・自立、共働・共助」という理念と、「新しいコミュニティの創造」という目標です。理念は運動の行動基準であり、目標は運動の目指すべき理想です。理念や理想を目にすると、現実とのギャップに落胆することがあるかもしれません。美しい理念が現実の労働の厳しさを緩和するわけではありませんし、理念を唱えたからといって人びとの行動がすぐ変わるわけでもありません。しかし、理念と理想はたとえ完全に達成されることがないとしても、常に私たちが目指すべき方向を示す主導原理です。現実とのギャップを認識して、そのギャップを少しずつ修正しながら進むところに、運動の本質があります。むしろそのギャップこそが運動の躍動力の源泉です。理念と現実が完全に一致してしまったら、運動は停止します。ズレがあるからこそ、問いが生まれ、工夫が生まれ、共働が生まれます。

シルバー人材センターを運動体として展開していくためには、市民である会員と制度運営を担う事務局の協力、そしてその歩みを照らす灯火としての理念と理想を共有することが不可欠です。これからさきの50年、100年とシルバー人材センターが地域を支える運動として発展されますことを心から祈念いたしております。

【プロフィール】

現在、城西大学経営学部マネジメント総合学科および大学院経営学研究科教授。全国シルバー人材センター事業協会「シルバー事業のあり方に関する検討会」委員、埼玉県シルバー人材センター連合事業推進計画(中・長期)検討委員会(委員長)、東京しごと財団理事、厚生労働省「生涯現役社会の実現に向けた検討会」(三菱UFJ R&C受託事業)委員などを歴任。



ともに歩んだ20年間に感謝を込めて

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長
石橋 智昭

町田市シルバー人材センターが創立45周年という記念すべき佳節を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

ダイヤ高齢社会研究財団が町田市に研究分室を開設したのは1996年のことです。当初は、介護事業関連の研究が中心でしたが、2006年頃から町田市との介護予防評価研究が本格化する中で、町田市シルバー人材センター(以下、町田市SC)とのパートナーシップもスタートしました。

具体的には、町田市SCの全会員に年1回の「健康生活アンケート」を実施して、生きがい就業の介護予防効果を探求する研究事業です。この取り組みは全国にも広がり、2017年には6都道府県33センターまで拡大し、累計1万人の会員データから数多くの研究成果が生まれ、新聞等にも取り上げられました。

当時のレポート内容を紐解くと、町田市SCの会員のうち約3割(700~800人)は国が定めた介護予防事業の対象者に相当していたこと。にも関わらず、そのうち6割は実際に就業し平均で月3万円程度の収入を得ていました。この事実は、実質的に予防対象者800人規模の受け皿(居場所)を担っていることに加えて、本来なら予防サービスの受け手(消費者)である高齢者を軽易な仕事や地域貢献活動を通じてサービスの担い手(支援者)へと転換する仕組みをセンターが実現していたと言えます。

こうした介護予防効果は、センターが果たす自治体への新たな社会貢献として注目されており、最近では全国シルバー人材センター事業協会による本格的な実証研究により、後期高齢者における新たなエビデンスも確認されました。この調査研究チームには、私のほか、塚本成美先生(城西大学)、渡辺修一郎先生(桜美林大学)など、町田市SCとゆかりの深い有識者が参加しており、2006年からの積み重ねがここに結実したものと自負しております。

このほか、忘れられないのが全会員を対象とした認知症サポーター養成講座です。そのスタートは、まだセンターが「認知症」に触れるのがタブーだった2014年のことです。現在までに、累計で4,238名が受講し、現会員の受講率も72.4%という驚異の高さです。全会員への普及とPR戦略を熱心に話される担当会員の方々の手首に輝くオレンジリングが印象的でした。

最後に、20年間のパートナーシップにおいてはセンター会員および事務局職員の皆様には本当にお世話になりました。貴センターとの歩みは、私に研究者としての指針を与え、大きな学びと成長の機会となりました。また、職員の皆様との親睦会でセンターの未来や可能性を熱く語り合ったことは、とても懐かしく青春時代のように思い出されます。

センターに集う人々の顔ぶれは少しずつ変わりますが、これからも一人でも多くの仲間が、センターを通じて新しい人生の扉を開き、感謝と奉仕の精神をもって地域を支えていただくと心から願っております。

【プロフィール】

1990千葉大学大学院修了後、亀田総合病院、慶應義塾大学医学部を経て、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団の研究部長(博士[医学])。慶應義塾大学・東邦大学非常勤講師、日本応用老年学会 副理事長、全国シルバー人材センター事業協会「安全就業・優良シルバー人材センター選定委員会委員」を兼任。

近年のインターネットの普及に伴い、あらゆる媒体でセンターの活動を発信しております。

ホームページ

<https://webc.sjc.ne.jp/machida>



トップページ



入会案内ページ



申し込みページ

より多くの方に閲覧していただけるよう、こまめな情報更新を行っています。

既存コンテンツの調整をはじめ、オンライン入会申し込みや仕事の申し込み（一部職種に限る）、よくある質問コーナーの設置など新たな機能を追加し、日々閲覧している方々の利便性向上を計っています。

銀齢だより



1981年1月 第1号

2026年1月 273号



2024年10月 特別号

2025年7月 特別号

2026年1月 特別号

2025年、5月号より全頁カラー版での発行を開始し、ポップなデザインやコンテンツを採用することでより読みやすさを重視しました。

2024年より毎年1~2回程度で、新聞折込を開始しました。センターの活動紹介や会員取材を掲載し、より多くの方にシルバー人材センターを知ってもらえるよう周知しています。

ポスター・チラシ掲示

市内の自治会の掲示板での掲載に加え、イベントでの配布や、関連施設でのチラシの設置を行っています。



広報まちだ



2024年11月15日号でシルバー人材センターが紹介されました。また、イベントが開催される際にも告知をしていただいています。

タウンニュース



近隣の情報誌にも掲載していただいています。

Youtube & ケーブルテレビ



近年のインターネットの普及に伴い、あらゆる媒体で掲載をしています。

班長・副班長紹介



堺地区班長
碓井 淳朗

私は2022年4月に町田市シルバー人材センターに入会し、初めは訳もわからず、ただ言われるままに公園除草、選挙時の駐車場管理などを実施しました。その後、2023年12月、前班長の都合により急きょ班長を引き受けることになりました。入会してからあっという間の3年間だったというのが今の心境です。普段心がけていることは、人とのつながりです。班長を引き受けて以来、我が班は入会者よりも退会者が若干多く、新規会員には『銀齢だより』を配布する際、顔合わせをするように

心がけ、それ以外の会員には会ったときに会話をするようにしています。シルバーに入会して良かったことは役職・年齢に関係なく気兼ねなく話ができることです。これは財産です。一方、各会員の価値観が年齢層によって違うなど感じています。それは決して悪いことではなく、それぞれの時代を過ごしてきたので、当たり前なことと捉えています。そこで、今後若い仲間が入会してきますが、決して自分の価値観だけにとらわれないように心がけていきたいと思ひます。

話は変わりますが、私は学生時代、水球部に所属していました。ご存知ない方もいると思いますが、水球は7人制競技で、プールで得点を争う競技です。ざっくり言うとハンドボールのプール版です。そのおかげかわかりませんが、この年齢でも何とか体力を維持しています。最近、サッカーが好きになり、「FC町田ゼルビア」のファンクラブに入り、時間が合えば応援に行っています。最後に皆さまのお力を頼りに精進して参りますので、よろしくお願ひいたします。



南地区班長
相馬 宏充

今年度から、南つくし野地域班長を拝命した相馬です。4年前にシルバー人材センターへ入会し、現在の業務は南町田に所在する、(株)ケーユー本店で20名のシルバーの方々と3班に分かれて週2日間、中古車清掃業務をしています。

私のモットーは何事にも最善を尽くすという気持ちで、現役時代の仕事をこなして来ました。昔から、「人間万事塞翁が馬」という、ことわざがありますが、人生の幸不

幸は予測できず、何が幸運に繋がり、何が不幸に繋がるかは分からない、という例えです。不運に思える事も、後になって幸運のきっかけになるかもしれないし、その逆も然りです。

今後、地域班長の仕事も勿論ですが、物事に一喜一憂、右往左往せず、最善を尽くしてやっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



地区の会員仲間と「暑気払い」



根岸地区 班長
加藤 隆

忠生地区で班長をしております、加藤です。

シルバーに入会してから11年が経過し、現在は継続的な就業として学校管理(小学校)のほかに地区班長として町田市などからの配布の仕事及び配布会員への声掛けを行っています。

シルバーに入会してからは多くの人と知り合う事が出来ましたが、一方で地区の会員さんと一度も顔を会わせないで退会していった会員さんがいたことが少し残念でした。私自身入会してから特に大変なことは

有りませんでしたし、周りの人に恵まれ、事無く仕事をする事が出来ています。

休みの日は会社員の時は、読書が趣味で通勤時に歴史小説や推理小説をよく読んでいましたが、今は、畑で季節の野菜作りをして、子供達や近所の人達におすそわけをしています。

これからも健康に気を付けて先ずは5年、その後は1年毎になりますが、今と同じ様に仕事を続けていきたいと思ひています。



鶴川地区班長
脇山 幸之

60歳になり誘われるままに入会しました。地域で協力できることとして公園清掃や、ビラ配布を時々やらせて頂きました。そうこうしていると、班長になってほしいと依頼が来るようになり、事情が事情なので不承不承受けました。今は自分の時間でできるビラ配りを中心に地域をまとめて

います。町田は坂が多く金井地域もすごいアップダウンがあり困りました。僕は最近慣れてきましたが、今までお願ひしている方も膝などが痛いという理由で、次々抜けていかれます。

新聞でシルバーの登録数が減っているなど報道ありましたが……

特にビラ配りは重要な仕事です。何度も全戸配布をしていると、地域の見守りになります。独り暮らしの方、小さい子どもがいる家庭など、様子を気にできます。一度異変を感じ交番に調査依頼したこともあり、地元の人が行う意義があります。市もそういう意味で活用してほしいものです。地域活性の為にシルバー年代の活躍方法を探していきましょう。



町田地区班長
河原畑 眞史

昨年の5月より森野2丁目の班長をさせていただいております。まだまだ班長らしい活動は何もできていませんが、同じ班の仲間としてこの森野2丁目班で一緒に楽しく活動を出来ればと考えております。「チラシ」、「ゴミカレンダー」など、一緒に配ってくださる方、随時募集中です!

私は2022年に退職し、シルバー人材センターに入会しました。主に今は「スマホ相談」や「Smile to smile登録」「公園除草の事務局」などの仕事をしています。

わくわくプラザで毎月2回開催されている「スマホ相談会」では、スマホに関するどんな相談にも応じていますので、お気軽にお越しください。(要予約)相談後は「私にもできた!」「本当に来て良かった!」と皆さん笑顔で帰られることが、私にはとても励みになっています。

一方趣味ですが、33歳から始めたクラシックバレエを現在も週1~2回ほど続けています。70歳を過ぎた今でもポワント(つま先立ちするシューズ)を履いて若い方たちとレッスンをしています。今の目標は80歳までバレエを続けることです!クラシックバレエは、衰える一方の筋力を維持するだけでなく、踊りの振りを覚えなくてはならないので、私には大好きな趣味「筋トレ、脳トレ」の一石二鳥になっています。

会員共助会

町田市シルバー人材センター会員の福利厚生を担う互助組織として2000年10月に設立されました。

年1回のシルバー交流会をはじめ、様々なイベントを企画して開催しています。また、同じ趣味を持つ方たちが集まっての同好会の活動も盛んに行っています。その他、入院や結婚、災害、ご不幸には給付条件に沿った見舞金の給付などを行っています。



勝沼山加園ぶどう狩り 2025.9

同好会紹介

絵友会

自分で表現したいものを楽しみながら絵にしてみましょう。そんな仲間とのふれあいでも新しい世界が開けるかもしれません。



コントラクトブリッジ

お気軽にご参加ください。ハマることうけあいです。まず例会(第2木、第4木)を覗いてください。



ひばり唄くらぶ

皆で集まり、昼のひとときを語り合い、唄いあって楽しんでいるカラオケサークルです。



町田食べ歩き会

町田市内の町中華・イタリアン・カレーなどを味わい尽くしましょう。料理を味わい、楽しみ、会員相互の親睦・友誼を深めます。



プラザ俳句の会

自然の中で遊んでみませんか。そして見たままを自分流に5・7・5の17文字で表してみませんか。今までと違った世界が見えてくるはずですよ。



カトレア ハーモニカ同好会

親しみやすく入りやすく、奥が深い楽器・ハーモニカ。“集い”やバス旅行などで活動しています。



雀銀俱樂部

会員の親睦と老化防止に。月に2回の例会があります。



フォトサルビア

撮影会と月例会、常設展示、秋の宿泊撮影会、年2回の発表会、カメラとパソコンの勉強会などを実施。



民謡同好会 友声会

大声で楽しく唄えば健康長寿医者いらず。入会順に町田民謡協会のコンクールに出場。



着付け同好会 着楽会

着物の美しさ、基礎を身につけて着くずれしない着装、着物、帯、小物の調和等自信を持ってお出掛けできます。



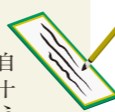
シルバー連 町田

江戸囃子の伝統芸能で、笛・太鼓に獅子舞・神楽舞等々…。溜まった心の澱を吐き出してくれます。



ほととぎす短歌会

気軽に短歌をはじめてみませんか。自分の気持ちを自由に、個性豊かに三十一音にのせて良い思い出を作りましょう。



輪おどりの会

踊って元気ハツラツ!! 盆踊り・民謡・演歌、踊って健康づくりに楽しいですよ。



シルバー交流会



オープニング 2024.11



腕自慢(南京玉すだれ) 2025.10



フィナーレ(みんなで踊ろう) 2025.10



西浦ミカン狩り 2018.11



豊洲市場とスカイツリー 2019.7



焼津・蓬萊橋(蓬萊橋) 2024.7



焼津・蓬萊橋(焼津さかなセンター) 2024.7

バス旅行



西浦ミカン狩り 2018.11



豊洲市場とスカイツリー 2019.7



鎌倉殿十三人(願成就院) 2022.11



焼津・蓬萊橋(蓬萊橋) 2024.7



築地場外市場と増上寺参拝 2025.2



築地場外市場を歩く 2025.2



旅の楽しみは コレ!! 2022.11



勝沼ぶどう狩りと新屋山神社参拝 2025.9



勝沼山加園ぶどう狩り 2025.9



金運上昇 新屋山神社 2025.9

健康散歩



小山田の史跡とバイオエネルギーセンター 2023.10



バイオエネルギーセンター 2023.10



小野路の里山(野津田競技場) 2023.10



境川沿い(泉龍寺) 2024.11



小野路の里山(小野路城址) 2023.10



境川沿い(親水公園) 2024.11

同好会の活動



着付け同好会 着楽会



絵友会(わくわくプラザ町田作品展)



雀銀俱樂部



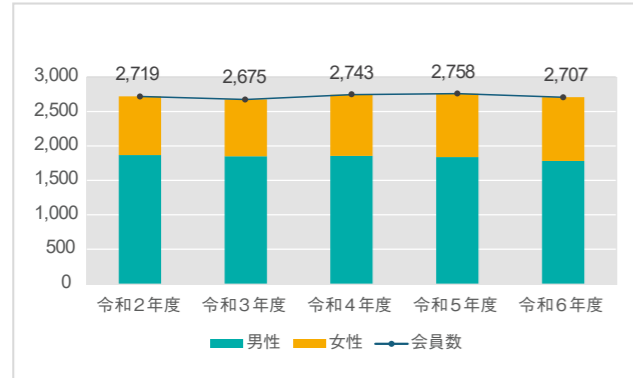
わくわくプラザ町田作品展



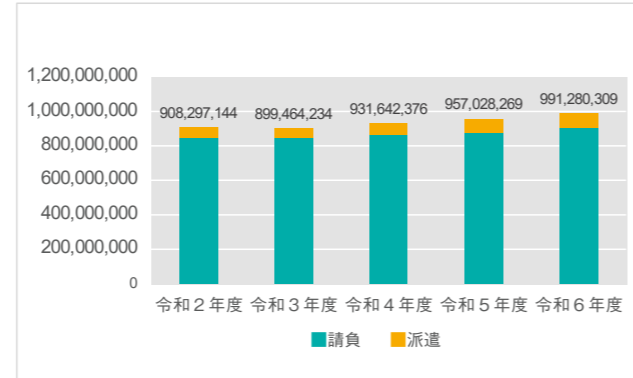
輪おどりの会

町田市シルバー人材センター 統計

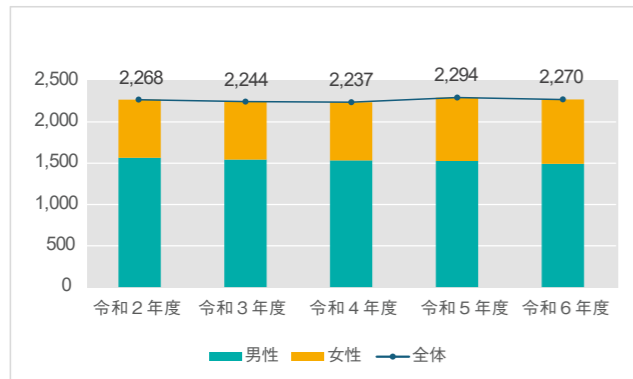
会員数



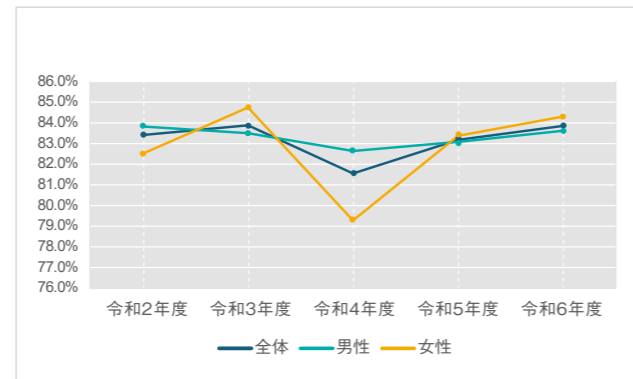
実績額 (円)



就業者数



就業率



認知症サポーター受講者

受講者数	受講率
2,072	72.6%

最高齢の会員

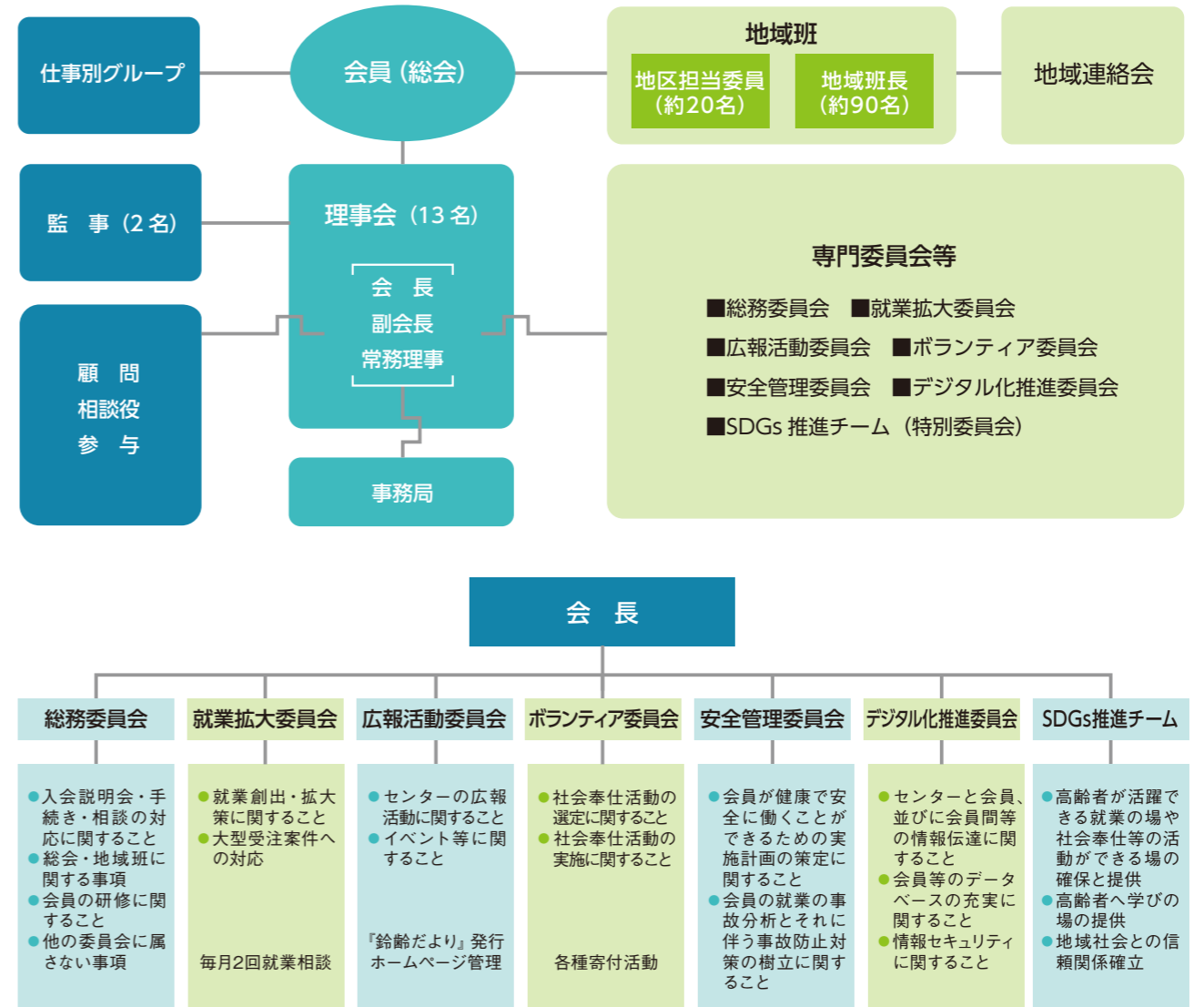
性別	年齢
男性	95歳
女性	95歳

職員

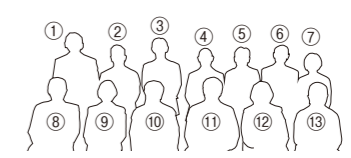


- 後列 ①小林 理香(嘱託)
 ②上條 真之介(主事)
 ③堀 恵理子(主任)
 ④花上 学(職員)
 ⑤毛屋 沙弥香(嘱託)
- 前列 ⑥笹本 淳(主任)
 ⑦阿波野 ゆう子(事務局長代理)
 ⑧池野 系(事務局長)
 ⑨石田 圭二(主任)
 ⑩伊藤 正信(主任)

町田市シルバー人材センター 組織図



理事・監事



- 後列 ①永島 直之 ②和田 正男
 ③三竹 和行 ④山藤 敬三
 ⑤田村 早苗 ⑥長谷川 二郎
 ⑦三宅 真理
- 前列 ⑧佐田 成史(監事) ⑨齋藤 紀子
 ⑩森田 真史(副会長) ⑪坂田 亮一(会長)
 ⑫三橋 薫(常務理事) ⑬横山 禎子

働くよろこび 未来につなぐ

公益社団法人 町田市シルバー人材センター
設立45周年記念誌



公益社団法人 町田市シルバー人材センター

〒194-0022 東京都町田市森野 1-1-15 わくわくプラザ内
TEL. 042-723-2147 FAX. 042-724-0407
受付 / 8:30~17:00
ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/machida>
小田急町田駅・JR町田駅より 徒歩5分



資料の収集・制作にあたりご協力いただいた関係各位の皆様に
厚くお礼申し上げます。

町田市シルバー人材センター事務局

発行日 2026年3月1日

発行 公益社団法人 町田市シルバー人材センター

企画制作 町田市シルバー人材センター

印刷 コムネッツ株式会社